

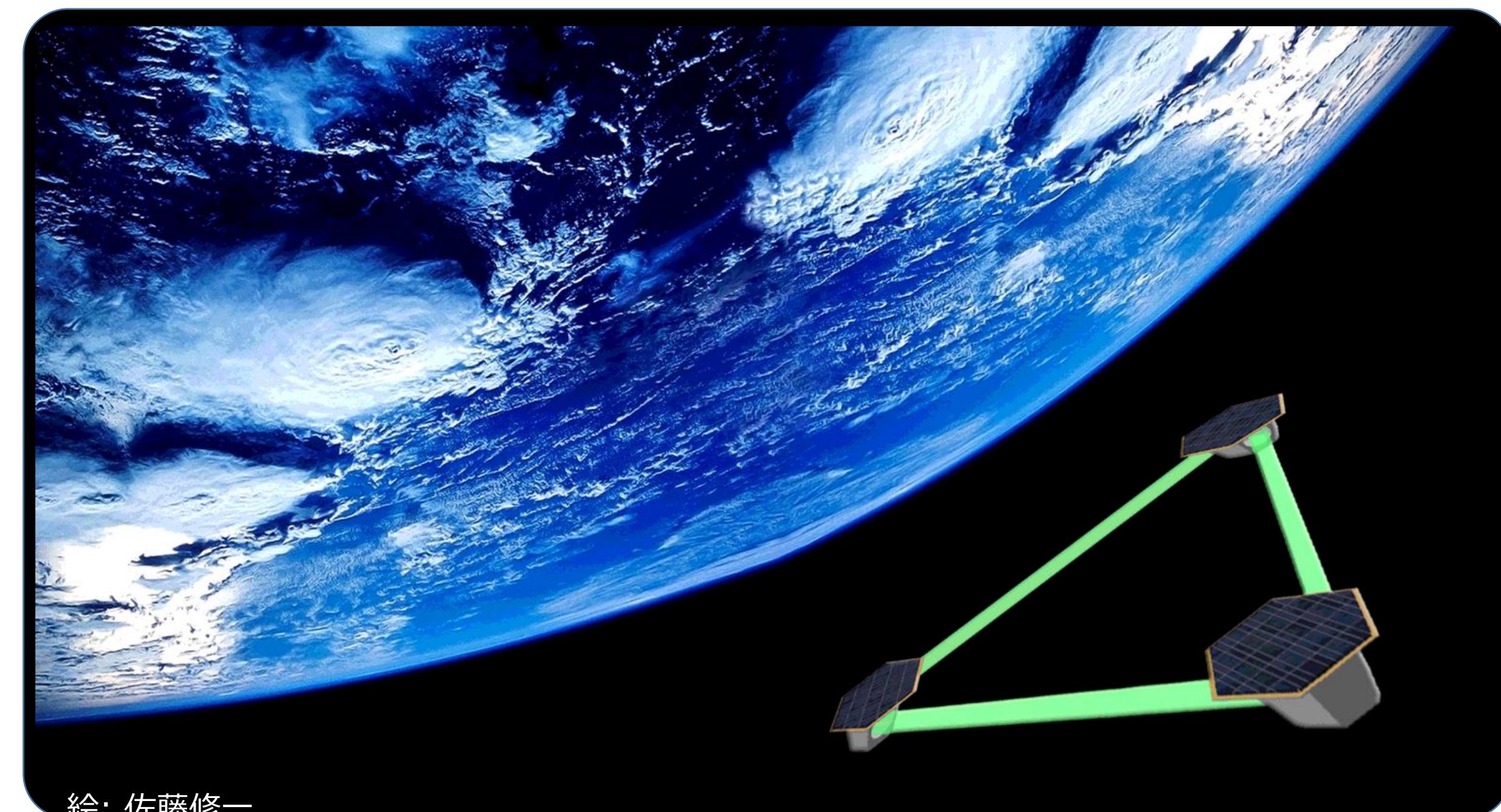
# 宇宙重力波望遠鏡 B-DECIGO

安東正樹 (東京大学 理学系研究科) ほか DECIGOグループ\*

## ● B-DECIGOの概要

- ・日本を中心に計画している宇宙重力波望遠鏡.
- ・3機の宇宙機によるフォーメーションフライトによって  
基線長100kmの長基線レーザー干渉計を構成.  
→ 周波数0.1-1Hz付近の重力波に対して良い感度.  
地上重力波望遠鏡 (100Hz), 宇宙重力波望遠鏡 LISA (1-100mHz)とは異なる観測周波数帯.

以前の'Pre-DECIGO'  
から改名しました.



絵: 佐藤修一

**独自の観測、他の手段と相補的な観測  
によって 重力波物理学・天文学を切り拓く!**

## ● 観測目標

### (1) コンパクト連星合体の観測.

- \* 連星ブラックホール(BH)の合体 (年間  $10^5$  イベントの観測)  
→ 重力法則・相対論の検証, BH時空の物理.
- \* 連星中性子星の合体 (年間 ~100イベントの観測)  
→ 高エネルギー天体现象 (ガンマ線バースト/キロノヴァ),  
宇宙における重元素合成, 相対論・基礎物理への知見.

### (2) 中間質量BH連星合体の観測.(宇宙全体をカバー).

- \* 質量 $10^2 - 10^5 M_\odot$ の中間質量BHの連星合体  
→ 銀河中心にある超巨大BHの形成の謎を解明.  
宇宙におけるBHの質量分布.

### (3) 前景重力波の理解.

- \* 多数のコンパクト連星(中性子星, 白色矮星)からの重力波信号を分離するデータ解析. 原理的に分離できない前景重力波の振る舞いを理解. → 将来のDECIGOによる初期宇宙からの重力波観測への足掛かり.

## 技術的課題

- ・長基線レーザー干渉計技術 (変位感度  $< 2 \times 10^{-18} \text{ m/Hz}^{1/2}$ )
  - 双方向FP共振器の光学系設計. 安定化光源とその制御.
  - 100kmの長基線技術 (長曲率半径鏡, 鏡変形の補正).
  - 光軸・衛星姿勢の初期捕捉. 低周波数雑音.
- ・外力雑音の低減 (試験マスへの力の雑音  $< 1 \times 10^{-16} \text{ N/Hz}^{1/2}$ )
  - 重力, 磁場変動, 静電気力, 残留気体, 热輻射,  
宇宙線衝突, 支持・制御起因の雑音, などあらゆる雑音源対策.
- ・衛星運動の低減
  - ドラッグフリー技術, 低雑音スラスタ技術, 衛星全体の信号処理.
  - 受動的外乱低減技術.
- ・衛星システム設計
  - 軌道設計, 初期ミッションシーケンス.
  - 衛星のリソース配分, 打ち上げ手段, コスト見積もり.

## ● ミッションの構成

100km離れた3機の宇宙機によるフォーメーションフライト

→ 長基線のレーザー干渉計型重力波望遠鏡

ミッション要求 :

歪み感度  $2 \times 10^{-23} \text{ Hz}^{-1/2}$  (0.1Hz付近)

\* 変位感度  $2 \times 10^{-18} \text{ m/Hz}^{1/2}$

\* 力の雑音  $1 \times 10^{-16} \text{ N/Hz}^{1/2}$

基線長: 100 km

光共振器フィネス: 100

鏡の口径: 30 cm

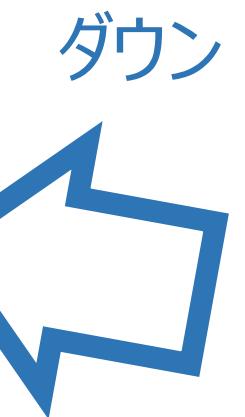
鏡の質量: 30 kg

光源レーザー光源出力: 1 W

レーザー光の波長 : 515 nm

軌道: 未定 (地球周回レコード盤軌道?)

ブレーク  
ダウン



S/C: drag free

Photo-detector

Mirror

Laser

Arm cavity

Arm cavity